

空間を香りで伝える

Communicating Space with Scent

安田 詩



本の帯に“香り”という付加価値を与える

嗅覚が一番記憶に残る感覚だと言われている。実際、“図書館の匂い”など香りで空間を思い出すことは多い。そういった香りの特性を活かして、本の帯に“空間”という新しい価値を与えようと考えた。著者の思い描く物語の香りを届けることで読者との新しいコミュニケーションをつくる。

Adding the Value of “Fragrance” to Books’ Wraparound Bands

It is said that the sense of smell is the most memorable. We often recall a space by its scent, such as the smell of a library. In this project, I decided to take advantage of this fragrance characteristic and add a new value of "space" by adding a scent to the wraparound bands for books. Delivering a scent chosen by the author gives birth to a new type of communication with the reader.

1 使用方法

葉のように本の中に複数紙が折り込まれている。折り込まれた箇所にとどりつくたびに紙を切り、ページに挟んで読み進めていくことを想定している。

2 香りについて

香りは本の中に折り込まれている部分にしかついていないため店頭で本が並ぶ際は気にならないようになっている。